

プログラム様式

プログラム名	We are champion	
対象年齢	4・5歳児	
ねらい	メッセージ	身近な自然に気づき、いろいろな形があることを知ろう。
	発見・体感できること	<ul style="list-style-type: none"> <li>自分のイメージにあった自然物を探す。</li> <li>友達との触れ合いを楽しむ。</li> <li>自然物を使って体を動かして物の長さを比べる。</li> </ul>
参加者のめやす	幼児 28人 / 支援者 4人	
実施時間	30分	
フィールド		
	森・社寺・林・公園	山・里山 / 川 / 湖・池 / 田畑・野原 / 園庭・公園
実施可能時期		
自然を感じるためのヒント		
時間	活動	配慮・アドバイス・アレンジ
5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動前にクラスごとに並んで、ペアを作る。</li> <li>導入 <ul style="list-style-type: none"> <li>ペアでジャンケンをする。</li> <li>負けた人が勝った人の頭をなでる。</li> <li>あいこになった時は握手をする。</li> </ul> </li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グラウンドで自然物ジャンケンゲームをすることを伝え、隣の友達と手をつなぐように促す。</li> <li>負けたりあいこになったりした時の動作を保育者が手本をやってみせる。</li> </ul>
5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>久徳グラウンドにある自然物をペアで探しに行く。</li> <li>探した自然物を使ってペアでジャンケンゲームをする。</li> <li>勝った人はライオンのイラストを貼った木に走り、タッチして戻ってくる。</li> <li>負けた人はアリのイラストを貼った木に走り、タッチして戻ってくる。</li> <li>あいこの場合はペアの人と手をつないでカメのイラストを貼った木に走り、タッチして戻ってくる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>グーになりそうなアイテムを子どもたちに聞いて、子どもたちがイメージをもちやすいようにする。</li> <li>グー、チョキ、パーに見立てられる自然物を見つけにくい子供には、一緒に探したり助言をする。</li> </ul>



時間	活動	配慮・アドバイス・アレンジ
5分	<ul style="list-style-type: none"> <li>※このゲームを3回繰り返す</li> <li>別のペアとジャンケンをして仲間を増やしていく。</li> <li>ゲームを3回して2チームに分かれる。</li> <li>チームの友達と協力して手元にある自然物を一列に並べる。</li> <li>長さを比べて楽しむ。</li> <li>分かち合い、振り返りをする。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>ジャンケンに勝った人は先頭になり、あとの人はロープの中に入る。</li> <li>転倒やケガに繋がらないように側につく。</li> <li>みんなで協力してできるように援助する。</li> <li>いろいろな形や大きさがあることに気づけるように声をかける。</li> <li>身近な自然物について振り返る。</li> </ul>
		<p>【園や家庭へ帰ってから】</p> <p>園へ帰ってから</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>長さ以外にも大きさや重さ、数などで競ってみる</li> <li>ジャンケンのルールを変える（大きい自然物を出したほうが勝ち等）</li> </ul> <p>家庭へ帰ってから</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>冷蔵庫の中の野菜やお庭の植物などで同じ遊びをする</li> <li>ジャンケンのルールを変える</li> </ul>
準備物・教材等		<ul style="list-style-type: none"> <li>ロープ 2本</li> <li>紙テープ 2色</li> <li>ナイロン袋（名前入り）</li> <li>木に貼る動物のプレート3枚（ライオン、アリ、カメ）</li> </ul>

